

第5回公園検討会議 議事記録

1 と き 平成30年9月18日(火) 19:00～21:00

2 ところ 西成区役所 4-6・8会議室

3 出席者

(有識者)

寺川 近畿大学建築学部建築学科准教授

ありむら 釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長

永橋 立命館大学産業社会学部現代社会学科教授

白波瀬 桃山学院大学社会学部社会学科准教授

(行政機関)

大阪市建設局公園緑化部調整課 竹野調整課長、黒瀬調整課長代理、氏原調整課長代理、他2名

建設局総務部路政課 井上管理適正化担当課長、池松管理適正化担当課長代理

建設局西部方面管理事務所八幡屋公園事務所 西所長、他3名

西成区役所保健福祉課 安間事業調整担当課長、他5名

福祉局生活福祉部自立支援課 北口自立支援課長、他1名

(地域メンバー)

川村 萩之茶屋第2町会長

蕨川 萩之茶屋第6町会長

松繁 釜ヶ崎資料センター

西口 NPO法人サポーターズハウス連絡協議会福代表理事

荘保 わが町にしなり子育てネット代表

山中 釜ヶ崎日雇労働組合委員長

多賀井 今池こどもの家

吉岡 いまみや小中一貫校校長

杉村 こどもの里

4 議 題

- (1) 第4回公園検討会議の議事要旨及び議事記録について
- (2) 新たなまちづくりビジョン策定に向けた検討状況報告
- (3) 新・萩の森の暫定活用にかかる提案
- (4) その他
 - ・美化啓発拠点の設置とその状況報告

5 議事要旨

(1) 開会

- それでは第5回公園検討会議を始めさせていただきます。

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中お集まりくださいませ誠にありがとうございます。

本日司会進行を務めさせていただきます、よろしくお願いいたします。

なお、公園検討会議におきましては、正確な議事記録作成のため、これまでと同様に録音等をさせていただきたいと考えておりますので、予めご理解ご了承くださいませようよろしくお願いいたします。

まず始めに、資料の方を確認させていただきたいと思っております。まず最初に次第です。【資料1】から【資料8】までございます。【資料1】が名簿【資料2】が座席表【資料3】が議事要旨【資料4】が議事録【資料5】【資料6】が新たなまちづくりビジョン作成に向けた検討状況報告【資料7】がもと萩之茶屋小学校北西部に生じる空地の利活用について【資料8】が美化啓発拠点設置後の後援の状況、以上お手元でございますでしょうか。もしなければ、事務局へ声をかけていただければと思っております。

それでは、会議進行させていただきます。

ここからの議事進行は座長がおられませんので、代わりの先生に司会をお願いいたします。

- 司会進行させていただきます。よろしくお願いいたします。まずは、議事録の取り扱いですね。

(2) 第4回公園検討会議の議事要旨及び議事記録について

- まず、第4回公園検討会議議事要旨及び議事記録についてということで、【資料3】が議事要旨【資料4】が議事録ということで付けさせていただいております。

この議事要旨につきましてはホームページに「あいりん地域まちづくり会議、公園検討会について」というのがありますので、その中で公開してまいりたいと考えております。内容につきましては、【資料3】のとおりです。会議議事録につきましても、発言者を記載しない形で個人情報に考慮しながら作成しております。この資料につきましても大阪市建設局ホームページに「公園検討会議、議事録」として公開してまいりたいと考えております。

本日は時間の関係もあり、資料も多くなっておりますので、この場での確認は時間的に難しいかと思っておりますので、確認は10月の2日火曜日までに修正等必要な場合は、ご連絡いただければと思っております。修正等なければこの内容で公開してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

- 只今、会議の記録の取り扱いについて説明がありましたが、よろしいでしょうか。何か変更が

あれば、事務局の方におっしゃっていただければということで、お願いしたいと思います。

今日は、大きな議題が2つございまして、一つ目が新たなビジョン策定に向けた検討状況報告ということで、今日初めてお聞きになられる方がいらっしゃるのかなあとと思います。公園、あるいは広場・オープンスペースに関するところを中心に説明していただき意見交換したいと思います。

その後、西成区役所の方から新・萩の森の暫定活用にかかる提案ということでやり取りしていただきます。前回までは、四角公園を中心に労働者の居場所や子ども達の遊び場としてどう活用できるのかと言う話をしてきましたが、今日はこの話はできませんが、次回以降に向けて踏み込んで話ができたらと思います。

そうしましたら、ビジョンのご説明ご紹介をお願いいたします。

(3) 議題

・新たなまちづくりビジョン策定に向けた検討状況報告

- 皆さんにお配りしている資料ですが、【資料5】になります。

委員の皆さんは他の部会でお聞きになっているかと思しますので、なるべく公園のことに焦点を当ててお話をしたいのですが、初めての方もおられますのでポイントになるところはお話したいと思います。このビジョンはこの間、特区構想が動いてからいろんな部会が運営されてきました。ただし、いろんな部会がある中、施設については絞り込んで議論ができたと思いますが、このまちの将来像が共有できるテーマとして、施設の中だけでは難しいが出てきているのではないかと、それぞれが関係する部分については検討できないという意見があり、有識者メンバーとしても、これまでの意見を踏まえ特区構想の中でのビジョン案を出しましょうということで進めてまいりました。特に今回は市長に提案させていただく機会ができましたので、皆さんが議論されていることについて、次期特区構想ではこういうテーマについて具体的な政策として進めて欲しいということで取りまとめをさせていただいているところです。

皆さんにお示ししている【資料5】がその一部で、各自有識者のメンバーが文言等についても調整、話をしている段階です。こういう部会で皆さんのご意見をいただきながら結果としてそれを市長に提案する。市長提案が10月ぐらい？

- まだ決まってないですが10月中くらいをめどに。
- 今日は一貫校の先生がお見えになってますが、子どもがかなりでてきます。今回は「子どもの声が聞こえる元気で優しいまち再生を目指して！」ということで、再チャレンジ可能なまちづくりを推進しようというのがメインテーマです。とはいえ、このあいりん地域は子どもがいないということもありますので、それをどうして行くか、西成特区構想ですから西成区全域での話でもあるので、そういうことを踏まえたうえでどうして行くのかがテーマとなっています。そのうえで、有識者提言として6つの提言を出しておまして、資料がありますので皆さんまた見ていただければと思いますが、ポイントだけお話しすると、**提言1**は「サービスハブ」というキーワードで展開しておまして、今まで就労は就労の部局がやってきた住宅とか地域はそういう部局がやってきた福祉は福祉だけでやってきた、どうしても担当部局の中でやらざるを得なかった、地域もそれぞれの専門組織がやっちゃっているというのは、これはしょうがない事かもしれないですが、特にこのまちがシナリオの中でどう影響するか、生活全体をつなぎ合わさなけ

ればならないということになりますから、それを「サービスハブ」という仕組みを作って、他分野を横断させた仕組みを作ってはどうかという提言です。

提言2が居場所と言うキーワードです。この間各部会で出てきたキーワードに居場所が重要だということがあったと思いますが、地域、まち全体の中にある様々な地域資源、社会資源を居場所として繋ぎ合わせていくその上で、地域に若い子育て世代を入れていくというハウジングが必要になる。住まいが無いのに入ってこれないという議論があったので、ハウジングとセットで居場所拠点、ハウジング、それから密集市街地が多いということで減災まちづくり、いざと言う時に強いエリアリノベーションをモデルとしてやっていくかどうかというのが提言となっています。

提言3が子育て・子育てしやすいミックスコミュニティ、つまり、今のあいりん地区は特に世代が偏っている。高齢者の男性独り身暮らしの方が多いう状況の中で、様々な世帯が住めるまちを目指そうということが重要なテーマではないかということがありましたので、特に子どもの声が広がる子育て・子育てしやすいためのミックス、いろんな世代がこのまちに住むために、有識者としてはゾーニングして、訪れる人、住んでる人、一時的に住む人などを含め、暫住という言葉を使いますが、それから定住、それぞれのいろんな段階で人が出入りし、そこに定着していけるようなそういう仕組みを作ってはどうかという提言です。

提言4としては、優しい！おもしろい！大阪らしい、このまちの持っているポテンシャルというイメージをアップして行こう、マイナスのイメージが働くことが多いのですが、これをアクティブラーニングという形で子どもの教育とセットで子どもたちがこのまちの担い手であるということを踏まえて、このまちの情報を分かってもらったうえで、いろんな人に発信していけるようにという仕組みを作りましょうというのが4つ目です。

提言5は、具体的にするためにはどうすべきかということで、前回ワークショップをここでさせていただいたときに、委員の皆さんからいただいたのは、絵に描いた餅になるんじゃないかということでした。そこで、**提言5**は特に連動する地域のいろんな主体がボトムアップをやろうとなっておりますが、具体化するためには行政がどう関連していくか、繋がっていくかということのを抜きにしては語れないだろうということもありましたので、そういう意味で言うと地域の活動と行政システムと行政機関との連携をどうしていくか横串のシステムを作ってはどうかというのが5つ目です。

さいご、**提言6**ですが、キーワードとして労働部会でもよく出ていました、ジェントリフィケーションです。結局、地域の今の活性化の動きは、弱い人たちを排除するのではないかという議論で、まさに懸念されているのですが今回の市長提言のポイントは、社会的な包摂力を持つこのまちの特徴と地の利、このまちが持っている可能性、人が集まったりとか、そこで起こっていくような、新今宮駅前の力というものをジェントリフィケーションを起こさない、弊害が起きないようにしなやかにしつつ社会的包摂力をその中に組み込んでいくというダブルエンジンで動かしていくというのが大きなテーマとなっています。

とはいうものの、提言だけでは動かないので、5つのアクションというものを作っています。これがまさに、これから市長に提案してこういうプロジェクトを事業化してくださいというものです。

1つ目が、仕事・住宅・福祉等の多分野連携型のサービスハブモデルというものを作ってくだ

さいということで、暮らしをめぐる他分野の既存制度や組織・主体を横串化する体制を構築し、暮らしをワンストップで実施する伴走型支援の実践モデルというものを事業化してくださいという提案をします。ネットワークの検討委員会を設置して行政との連携の仕組みを作っていく。あと、関係者へのニーズ・運営等に関する調査。新しい就労機会を生む就労連携モデルを国も府も市も連携したものとして作るというのはどうかという提案です。それから、まちとつながる孤立防止と地域医療モデルの事業ということで、今日ちょうど、医療専門部会がありましたけれども、そこでもお話しさせていただきましたが、今まさに社会医療センターが地域医療というものを地区の1つに入れていただいていますので、具体的に地域医療とまちづくりがどう繋がっていくのかという非常に重要なテーマですので、ここで地域連携型の医療モデルというものを作ってはどうかというのがこの提案です。

2つ目ですが、とくにこの2つ目が重要なこの公園部会のテーマになるかと思うんですが、居場所とハウジングと減災まちづくりという今までバラバラだったものがエリアリノベーション地域全体をリノベーションしていきますというテーマの中で安心居住を具現化するような減災まちづくりを進めていく。特に防災まちづくりといえは地域、町会の方々に今の不安材料という木造住宅が多かったり災害の時に自分たちのまちを守れるのかということを非常に懸念されているところがありますので、面として町全体で考えていけるのではないかとということで、エリアマネジメント体制をつくって事業運営をしていってはどうか。特に具体化するのには、居住支援協議会という国の制度でありますけれども、居住支援法人というものを設立して、地域の組織のネットワークを利用して事業を具体化していってはどうかということ。もう少し具体的にいうと、空地とか空家とかを再生していくことで、居場所を作る、拠点を作る、ハウジングを作るということを一定年間に何個かそれがきっかけになって広がっていくようなモデル事業をしていってはどうかというのが2つ目のテーマになっています。それから、居場所モデル事業というまさにこの公園部会のテーマになるかと思うんですが、生活困窮者、子どもなどの多様な人々の利活用モデルを実施してはどうかという提案です。新萩の森・広場・公園・商店街・施設等の整備を持続的な運営モデルとして実証実験として実際やってみるとということでモデルを作ってみてはどうでしょうかという提案になっています。

3つ目が、子どもの夢実現モデルということで、アーカイブプロジェクトといって情報アーカイブが前の5カ年計画から進んでいます。これをより発展的に利活用しようということが、この情報アーカイブのプロジェクトで、もう少し子どもとリンクした情報アーカイブ機能というものを持ってないか、このまちには外国人の旅行者もいっぱい来るいろいろな人がいるわけで、その生の社会に繋がる機会を子どもの教育的機会として使ってはどうかということ。事業として動かそうと考えているものです。そういう意味で、子どもの夢実現プロジェクトは子どもの居場所をつくるか遊び場をどう作るかということがまさに公園部会のテーマでもあります。それから、小中一貫校における地域学習、これがずっと継承できたらいいなと思うんです。たとえば、子どもの夢実現プロジェクトというのは、実は今、小学中学校の8年生で、彼らの夢があってそれを実現させたらどうかというモデルでもあります。地域では子どもを受け止めてきた組織がたくさんありますので、その子どもたちと具体的に何かを生み出していくようなプロジェクトを検討してはどうかということ。3つ目のテーマとして言っています。

4つ目です。これは、賑わい創出地域交流モデルということで、地の利、この場所の持つてい

るポテンシャルを生かしたエンジンを使うということで、そこのいろんな人が集まってきますから、多様な人々の交流の場を作ってその化学反応からまちに賑わいを与えて、愛着と定着を生む機会を作りましょうということで、具体的には「屋台村事業プロジェクト」商店街の拠点を探し出す事業というものを市長に提案しようと思っています。どういうことが可能なのかということについてもこれから具体化していきます。それから、イベント交流事業の体制、労働センターの仮移転施設の利活用、これは5年経つと労働センターの仮移転の跡地が空くので、その拠点をどう使うのかと言うことも頭だししておかないといけないテーマなのでここに入れていきます。

最後は、イメージアップキャンペーンです。これは、前期の西成特区構想から継続されるものですが、ポイントとしては、西成若者の会、西成応援団、次の世代を育てるということも重要になってくるので、若者が集まれるような、その人達がちゃんと意見を言えるような場を作ってはどうかと言うことに加えて、今は情報技術が発達しているので、IOTとかICTとかVRとかを活用したプロモーションキャンペーンをしてはどうかということ。

それから、国連が「アジェンダ2030」というものを出しています。今度、G20でテーマが1つになると思いますが、G20を大阪でやるのであれば、持続可能な開発目標SDGsを世界各国でやろうという中の実践モデル地区にこのまちはなるのではないかと思いますので、方向的にも戦略的にもこういうものを使ってはどうかということです。

それから、まちに緑をという意見が沢山ありますので、まちなかアート・緑化プロジェクトというのも具体化したいと思います。

あとは、1番から12番までいろんなテーマで提言書を作成しています。たとえば、公園部会に関連するところだけ出しますと、04番のテーマで「子どもや子育て世帯が暮しやすい居場所づくり・夢づくり」子育て・子育て豊かな環境整備・次世代のまちの担い手育成というテーマで、特にこの中では、どんどん子どもも少なくなっていって、萩之茶屋も一割程度減少していく。子どもの里では年間14,000人利用している。外から来る子ども達もいると書いてある。いまみや小中一貫校が開校して、交流・挑戦・体験を重視した地域交流、IOT英語教育が注目され、大阪全区からあつまってきた。でも調査の中では、子どもの居場所遊び場づくりというのは非常に重要だと子ども親も考えている。先生方も考えている。それをどう具体化するかということが重要ですよということも提案しています。たとえばそれで、さっきも言っていました、いまみや小中一貫校地域学習で出てきたこういうものを具体的にしてはどうかとか、子ども達が今何を求めているか。大人たちが子どものために何をしようとしているかということについてまとめています。

それから、05番で脱コンクリートジャングル[都会の森]×[居場所]計画始動! まちのイメージ転換! 柔軟で多様な使い分けで豊かな居場所づくりということで、子どもは「公園とか広場についてみんなが気持ちよく使える」「いざという時の緊急避難場所が必要だ」と答えているのが7割。「野宿しなくてよいサポートが必要」「使い分けを工夫」が4割を占めている。労働者に伺うと、7割が「公園・広場や緑が豊かなまち」を求めている。子どもの半数は「もっと自由に遊びたい」とも思っている。特に低学年は「イベントと緑を増やして欲しい」が7割以上を求めています。でも、「公園で生活する人のことも考えて」と思う児童が半数を超えていて、労働者も「子どものために公園を」という声があって、お互いおもんばかっていることが特筆できます。現在公園専門部会では「使い分け」や「暫定利用」について議論しており多様な利用者の居

場所づくりと運営のあり方などについて検討しています。旧萩之茶屋小学校にあった「萩の森」の移設を始め、地域運営によるプレーパークや屋台村構想、労働センター仮移転時の居場所拠点、コミュニティ農園など、みんなが協働する地域貢献事業として多様な利活用が検討できそうです。時間・空間・関係の間をデザインしたこの取り組みが実現することで、全国でもユニークな取り組みとして注目されるでしょう。ということでいろんな資料を載せています。ここでお知らせするのはどちらかと言うと、公園ではなく広場の活用の事例になります。これは、箕面です。箕面では500㎡ですから、新萩の森よりは少しだけ小さいくらいの大きさです。ここは砂利で覆ってたんですが、須磨埠頭からコンテナを2個持ってきて、地域の人達が改修をして、チャレンジショップとして、やりたかったお店を持ってもらうというプロジェクトをやっている。北コンテナ・南コンテナとあって、モーニング喫茶を地域のおばちゃんたちが運営したり、子どものための駄菓子屋をやったり、居酒屋をやったり地域の居場所・拠点をいろいろ実験的にやっている。これを受けて本設までつくって最終的には仮にチャレンジしたもののがうまくいけば本設で運営できる。イベント広場もありますのでマーケット、朝市みたいなことをやったりして地域の居場所づくりというのが箕面の事例です。

こっちは佐賀の事例です。「わいわい！！コンテナ」空地が増えればまちが賑わうを合言葉に、空地をそのまま放っておくのはもったいないだろうということで、佐賀市と協働で社会実験を行っている。まちなか再生会議というNPOで会議をつくって、NPO法人まちづくり機構ユマニテ佐賀が運営して、社会実験を行ってわいわいコンテナ2まで作っています。コンテナを置いただけなんですけど、このコンテナを使って「空き地リビング」というようなものを運営したりとか、コンビニ的なこととかいろんな使い方をしているという事例です。

これは大阪市の事例です。北加賀屋、住之江区です。「みんなの農園」北加賀屋クリエイティブビレッジ構想の団体によって2009年から開始されました。土地が空いているのはもったいないということで、農作業とか、あったらいいなあという施設、設備を使ってこの農園がスタートしています。基本的には行政の補助金を使わずに民間としてやっているというのが特徴です。

これは「西成プレーパーク」です。ここでやっているプロジェクトとして載せています。プレーパークはこれから西成特区構想の中で非常に重要なテーマで、この再生・再構築が重要なテーマとなって議論されるであろうと思います。

最後に、空地や広場の利用について、芦原橋のアップマーケットというところで実践している大阪市の事例です。イベント得区という方法を利用して3年間継続した事業で、大阪市の土地を駐車場として運営しているんですが、地域の会社がここを運営して駐車場の運営費を活動費にあてているという仕組みです。これがきっかけになって芦原橋周辺の空家がお店に転化していったり、住宅になったり変化していったという事実がありますので、例えば特区構想という西成の広場づくりの一つとしてこういう暫定利用のあり方というのも含めて考えられる事例ではないかと思っています。

京都駅から歩いて5分ぐらいの所に京都市の土地があり、いままでフェンスで囲ってあった土地ですが、京都市立芸術大学が移転してくることが決まりまして、芸大が来るまでの間、賑わい作りをしようということで地域が崇仁新町という屋台村を作りました。土地は京都市から無償貸与して、ここから生まれた費用で地域に貢献していきましようというものが立ち上がりま

した。2年半のプロジェクトとしてやっています。

いろんな使い方や居場所をどう作るかということが大事なのでこういうのも賑わい作りとか居場所づくりがテーマである地域資源を使いながらそういう場を作っていきましょうというテーマになっています。

○ 今、これから検討していくことに関わるテーマについて、今回は市長さんにこういうことをやりたい、やってみてはどうかと、具体的な中身についてはいろんな場所で話をしながらやっっていくということですね。

○ こういう場所で議論したことが具体的に実践できるモデル事業としてできるような枠組みを作っておきたい。

→ 今日は状況報告だけなんでしょ。

○ これについてももう少し話をした方がいいかなあと思っているんですけど。

→ たっぷりやるより、この前の台風があったじゃないですか、公園の危機管理ができてないよね。もし来年きたらどうするの。こういう話に時間をとっていただいた方がありがたいのかなと思ったりしています。

○ じゃあ、5分だけしましょうか。

→ 私に聞かないで、みんなが30分やりたいというかも知れん。

○ 今おっしゃっていただいたことも、すごく重要なことなので、googleで地図出して四角公園を出していただいたので、どういう状況なのかということ、後で公園事務所あるいは地域の方に聞きますが、これだけちょっと確認させて下さい。

空地とか広場とかを使って、今まで住んでこられた地域の方々あるいは労働者の方々とも折り合いをつけてしていくというのがこのまちの大事な課題だということで、そのためのいろんな仕掛けとか手立てが他の地域でもなされている、たぶんその地域で行われていることも、最初からうまくいっているわけではなくて、地域の中での話し合いだとかいろんなやり取りがあってできたと思うので、今日も後で新萩の森について議論を進めていくよう区役所から定義がありました、この公園検討部会の中で改めて議論していくということを確認したいと思います。その上で今公園がどうなっているのか話をしようと言われましたが、8月25日の時に地域の方々や取りましたんですが、改めて今日、話を聞いて思われたこととかありますか。

→ あの場所に来てはったと思うねんけどねえ。何を言ったかとか全部覚えてしませんからやねえ。

話は違うんやけどね、この前ね、三角公園の横手いうか南海の跡のところに炊き出しの場所ができるとか

○ シェルターの跡ですか。

→ シェルターの跡ね。わしや知らんけどそれは、今宮さんは許可をしたんかと、よっしゃと言うたんか。それは警察の方はわからへん、聞いときますとゆうとった。

今宮連合さんはよっしゃと言うたと、そしたらあそこで炊き出しの場所ができると思うんですよ。あそこは場所が広いから横にも公園があるから、他の炊き出ししはるのも一箇所でやったらどうやという話もあるんですよ。

あっちゃこっちゃで炊き出しやらんでも、一箇所でドンとやったらどうやと。

○ 僕にとっては初めてのお話ですが、今まで公園検討部会で出てきたことはない話なので、そこ

らへんのこともどうなっているのか、行政の方で今のお話についてどうですか。

→ 役所の方が予算がおりてどうのこうのって言うてはと思います。

○ これは、正確なことはどこまでご説明いただけますか。それについて、できるのかできないのかについてだけ教えてください。

○ 今おっしゃられた件なんですけれども、今宮シェルター跡地で福祉局の方から限られた年数で使用許可を受け広場の整備をしようということで設計をお願いして、今年度中に整備をするということで、今年度の区の予算として進めていくということでございます。今現在お借りしている部分の西側については環境整備事業で長期放置された自転車の保管場所として利活用させていただきまます。残った部分については整地して広場として整備をしていくというところでございます。その中で昨年度、私が引継いだ内容として、今宮の方から三角公園の、公園としての適正化という部分で、炊き出し小屋の問題については従来から指摘を受けていたということで、そういったことを踏まえて、今整備をしようとしている広場に炊き出し小屋を移すということもあり得る話として活用の一つの方向として、慎重に検討しているというような状況です。それについては、相手方によるもろもろと地域の方についても、今宮の方にこれからどう進めていくかというようなことについては、これからの話です。既定の路線としては炊き出し小屋をここに移すということは何も決まっていないです。ただ、そういうようなことが可能であるような場所として今現在、広場としての整備を進めていくという状況です。

→ 畑の場所ですか。

○ 畑の場所はもう少し西側で今やっています。また別の場所です。

○ ここのあり方については、今宮と話をすることですか。

○ これからの話です。

→ 今宮さんある程度、いいよと言う空気なんですか。

○ そのへんもですねえ、これからの話になります。

→ あのねえ、今宮さんあんまり出て来はらへんで、僕らは萩之茶屋連合で、萩之茶屋連合は勝手に物言いにくいんですよ。四角公園とか仏現寺とか花園公園やったらまだ言いやすいんですけど、三角公園というのは今宮さんがどう言っているのかということをお聞かせしてもらわないと、もめるのも具合悪いんでね。

○ おっしゃられたことについては、全く根も葉もない話でもなくて、そういうことも含めて考えていくところではあるんですけども、実際に三角公園で炊き出しされていて、食事されている方も週2回ですからかなりの方がいらっしゃってですね、これが一人歩きしてどうなってるんだという話になりますと、動揺もあると思いますので、慎重にやっついていかなとあかんなあと思います。

→ もちろん、やっついてはることは確かにいい話ですよ。皆さん、苦しい人にご飯を分け与えるのだからいいことやけども、それが仮に近隣の町会とか住民に対してですね、西成署の周りをぐるりと回って炊き出しの順番を待ってるとか、周りの人はいい話やけどそれを見てる人間は何やなと思うことはある。そんなんやったら、あっちゃこっちゃで三つも四つも離れてするよりも一箇所に固めてやってくればあったらどうかなあと、わし個人は思うけどねえ。

○ 今、おっしゃられた話をですね、萩之茶屋連合の会長には事前にチラッと聞いていたんですが、ただ、そういう話はわれわれも一切言っていない、公園さんもおそらく言っておられない話

の中でどこから出たのかなあと。

- わしは西成署から聞いたで。
- その話も聞いていたんですけどもね。ちょっと驚いています。
- まあ、そうならええなということで、基盤整備だけはしとこうよということですよ。
- 今宮連合さんも三角公園を公園として使えるようになりたい、そのためにあつこは譲ってもいいよって考えてはるかもわからんけど、どう考えてはんのか聞いといてもらえた方が、いてないところで勝手に話し進めたら怒られますよ。
- この話は、検討会に入っただけで、どっかの時点で検討部会でもちゃんと話してもらって進めていくように。
- 検討中やと言わはるけども、警察がね、今言うように今宮連合さんから許可をいただいたと、予算があつて、どういうふうに作るというような話もあるよと、わしの聞き間違いかどうか知らんけども。
- こういう話の流れは僕としては納得できない。これまでたくさんの会議を踏まえて他の有識者の先生方が一生懸命ビジョンを作ろうとしていて、こんなふうに公園や広場を考えていこうというような話もある中で、シェルター跡地が今後どうなるかということがこの場で提起されないで、実はそういう話が進んでいるということは承服しがたい。僕はこの会議の中で広場や公園のあり方を検討していくということで有識者委員を引き受けましたけれども、この場で提起や協議が行われないうま何かが決まってしまうのであれば、責任持てないですよ。
- だから、この考えのとおり決めはって動くんならいいけど、個々に動いたらなあ。
- 公園については三角公園について検討しましょうよ。それは公園として適正化を図る。その一環として、どっかに何かの話はあつたとしても、連合といつても、町会もいろいろあるわけで、なかなか早い段階でオープンにして話ができるというわけでもなかつたら、私から言わせたら、さっきから説明してたやつ素案の段階でもうちょっと早く言ってもらわないと意見の出しようが無いよね。ここまで固まって何ぬかしてんねん。じゃあ勝手に有識者で出さんかいつてなってくるのと同じような話よね、だからそれぞれ分担があつて、ある程度決められた枠の中でせいぜい一生懸命やりましょうということですよ。
- すいません。僕は大人になれないのでそのようには思えません。もう一つ言わせてもらいますけれども、今回のビジョン案だつて、こういう方向で行こうつて言ってるけど具体的にどうしていくのかということまで提案はできてないわけですよ。有識者からこういう方向で進めていってはどうかという提起はさせてもらっていますが、具体的な中身をどういうふうに行っていくかについては皆さんと議論するんだと思つていたので、いきなり「これはこっちで議論するけど、これは議論しない」なんてことになると僕自身ごく混乱しますし、不安に感じます。何をこの中で議論するのか、そこらへんを整理しないと噂が一人歩きしてしまうということが起きてしまうし、有識者委員として僕自身も非常に混乱しているので、何をどう議論するのかを整理してから議論を積み重ねていきたい。
- 有識者だけ違うと思うけど。僕らも、ほんま？みたいな、うわさは聞くことがあるので、うわさなんかほんまなんかわからへんけど、そういう話の方向みたいやでつて聞くから、それつてどこでどないなつてんのかと思う。この場で決まってるんやつたらいいけど、この場にはあんまり三角公園の今宮さんは出てきてはらへんから、あんまり出しゃばつたことは言われへん。今宮さん

の考えもあるやろう線路跡の使い方の考えもあるやろう。今宮さんが三角公園を公園として使うためにそういう考えもあるよねとは思った。それを今宮さん自体がどう考えてるっていうのをある程度教えてもらわないと、当事者の今宮さんがここにははれへんから。

- まだ今どうなるかわからないということですけど、シェルター跡地がもし動き出すとしたら今ここで議論していることより先行して動くことにもなるので、かなり重要な事例になるだろうと思います。
- 今宮さん忙しくてここに出てこられへんかっても、今宮さんのまとまった話を教えてもらえたらいいけど。
- そうですね。部会に入ってもらっているし、西成特区構想のビジョンはあいりだけでなく周辺も含んでいますからね。
- 来れなくても、今宮さんはどう考えてるっていうのを役所さんが聞いてくれて教えてもらうなり、今宮さんが来て説明してくれるなり、何かしてもらわないと、周りは言いにくいよ。
- ただ、もう一つの当事者という意味じゃないですか。炊き出しやってるのは勝ち取る会で、ここは代表制を完全に敷いて統制が取れるという形であればいいけれども、どうも組織で仲間を分担してやるようなところがあって、この公園部会についても、役所から声かけてねって言った。確かにその人に聞いたら声はかかったけど、代表制をとってないから、誰を出していいかわかれへんしと断ったということらしい。そういう組織体だから、どこまでどうつめたらいいか、そっちの方も話を進めるようにしとかなないと、なかなか難しい。
- インフォーマルなことも含めて、少なくとも動いてしまうという事実がある。
- どこかの段階ではこの話を整理するうえで団体とも話はせなあかんし、まだベースの段階で行政的にも整理ができてない中での一人歩きをしてる状況やし、ここでの扱いをどうするかという、まさに、そのことも含めて次の第6回目の前にみんなでて言ってたんですが、どういふふうで検討部会に出していくか、当然、今宮には来てもらった上で意見を聞くということをした。それが本当に三角公園の炊き出しのツールなんかということも含めて検討していかなあかんと思っていた矢先なので。
- 気をつけなあかんのは、気が付いたら決まっていたというのだけはやめた方がいい。
- そこは分かっていたほしいんですけども、言われたように、行政間でも十分整理ができていない、予算取って広場の整備をしている状態のところなので、その辺は今宮連合の方にも地元に対してどうやって話していくかはこれからです。正直言ってこの検討会で話をだす上での基本的な整理がまだできていない。
- 俺らは関係ないってことね。今の役所さんのお話聞いてると。
- この場でちゃんと踏まえたうえで、やっていくかどうかということをやらせていただきます。
- なんで警察は決まってるようなことを平気で言ってるの。そこらへんもよく分からないです。
- 警察も決まってるっていったんじゃなくて、そういう話があるらしいですと聞いたのかもしれない。
- わしの聞き間違いかも分からんけどね。うん。
- その場で言うということは、ある程度でないといえないでしょ。
- だから、この会議でこういうふうで決めたこと、これを役所に言うねん。警察に言うねんという

ふうに決まればいいことだけど。一つの部署だけで決めてこないなりませでは、この会議は何やねんとなる。

- そういった意味ではビジョンは大事だと思います。方向性をみんなで共有して、それぞれの場所で何をやるかということで議論できるような土壌を作ろうとしているわけですが、さっき言ったように、それなら勝手に作ってくれと言うわけじゃなくて、こういうふうにして欲しいということは言って欲しいし、機会は何回もあるので、それはぜひ皆さん有識者の方にも、後で校長先生にも伺おうと思うんですけど、これを枠組みとして市長に提案して、具体化していくプロセスで、特に居場所というのは大事なテーマですから、ぜひそういうところで意見いただきたいんですけど、今みたいのがぱっと出てくると、何やってんの我々って、有識者も思う。この辺り丁寧をお願いします。

→ 特区構想が出てから僕ら参加してるけど、特区やからって参加してるわけちごて、彼に任せたら談合で怖いかも分からなかったから、地域守るために僕ら参加させてもうてんねやんかあ。そこやと思うねん。それを、まだそれ以外にどっかでの根回しで動かされてしまたら、何やねんとなる。なんかの思いがあるとか、そんなんではなくて、市長を応援した覚えもなんもないけど、怖さの方が強かったんで、いろんなとこ参加させてもらってる。丁寧さが足らんと思ってるから、だからそれを思っ参加しているみんなに対して、そこ丁寧さを語るように何とかしてください。

- でないと、我々もこの場に居れなくなる。責任持てなくなる。
- はい。
- ちょっと災害の話させてもらっていいですか。
- はい。ただ、皆さんおっしゃっていただいた事はたぶん、行政側の方も受け止めていただいております。ぜひ丁寧な対応をお願いします。いろんなご事情があるかと思いますが、その事情も一緒に共有しながら知恵を絞る、あるいはどうしたらいいんだろうというところで、信頼関係ってのは強固になると思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

そうしましたら、この間の災害の話をお願いします。

- 一つだけ、結局ビジョンはこういう形で提案していますが、これをもっとこうして欲しいとか、こういうモデルがあった方がいいんじゃないかとかあれば、ぜひ引き止めていただきたい。とにかく、勝手にやれやと言われるのが、一番、我々のやっている意味が無くなるので、ぜひお願いします。
- 台風21号、本当に大変だったと思いますが、その状況を確認するというところで。
- 四角公園なんですけど、倉庫にしていた小屋が、何個か潰れています。立禁テープを張っています。これはどっかの時点で回収、中に物があれば事務所で預らせていただくことにさせていただく。三角公園の方も、樹木等が倒れて炊き出しの小屋の一部も損壊しています。これも同じ様なことをやっていきます。なんでやっていきますという言い方かといいますと、市内で樹木がかなり倒れており、まだ公表してないですが約8,000本、私おります公園事務所で管理している港・大正・西成で約800本の木が倒れている状況です。その他、大きいところで言いますと、西成公園の野球場のフェンスが倒れました。今、我々、公園事務所が何をやっているかといいますと、台風当日から初期対応として道路を塞いでいる所の樹木の撤去、現在まだ目処が立たないんですけど倒れ掛かってきている木の処分、完全に倒れた木については3番目に撤去使用かなあ

と思って立禁テープを張っている状況です。場合によったら枝が落ちてきて人が怪我したりというのは、さっき言ったとおり100本・200本ではないので、それに対応を追われているという状況ですので、三角・四角・西成公園のテント小屋がけが潰れた物については預かる処理をするということは考えているんですが、もうしばらく時間を頂戴したいと思います。

→ 街路樹も含めてですか？

○ 街路樹は、約300本程あります。

→ 今の話は公園の中の話？

○ 公園で約500、街路樹が約300です。これから台風がまだ来る可能性もありますが、ただ復旧とか次の予防策は正直今はできない。

→ 事情はよく分かります。けれども、もう少し現状認識をしっかりといただきたい。私が知っている範囲で状況を詳しくいうと、四角公園の北側の横にうんていがありましたが、部分的に飛ばされて、廃材がどこに行ったかわからない状態です。さっき行った、立ち入り禁止にしてある所の西側、ブルーシートがかぶせてあった所、の廃材が一部まちづくり合同会社が回収して山田衛生が処理した。うんていの横にあった立ち木、台風の時に3人があの木を自分らで切ったらしい。その生木も含めて全部、まちづくり合同会社が処理した。残ってるやつが安全か言われたら、安全ではないよね。それも含めて一定事態が収まったら、来年の台風時期までには何とかすべき。今、環境整備やってる所に、通い箱がいっぱいあるわな。役所がよく使う、たたんで書類やなんかを運ぶ箱。あれはどこのかって聞いたら、憩いの家の人達が積んでいるらしい。あれは、持ち主が分かっているんなら処分させるべきだよ、野宿も何も関係ないんだから。和歌山に野菜取りに行く時に時々使うねんていってのけど。

三角公園については、便所の横が風で飛んで、今は中に入れないようにしてるけれど、あれは管理していると称している男の人がやってる。桜の気がぽっこり倒れてる。上のほうが折れたんやな。山田衛生の入った入口に一番近い所、あれも一部屋根が飛んでる。舞台の上、お地蔵さんの所に、一人だけ住んでる、あの人はずっと屋根を押さえ込んで自分で抱えてたから飛ばなかったと聞いた。こっち側にあった2軒は手入れがいいし、ロープを2本程張ってたらなんともなかったらしい。炊き出しのテントについては1棟がめくれて、物を出して山のように公園の中に残骸が置いてある。手前のテントも仮小屋も一部屋根が飛んだだけで、よく分らんねんけど、あそこに街灯が1本立ってるけど、それに組ってあって、そこからくの字に曲がって、電線が垂れ下がってというような被害がありました。外灯を曲げるような仮小屋を建てといていいのか？そんなこんなもあって、炊き出しの場所をどっかに移したらどうかというのはなしにもなってくる。

○ 細かい状況報告ありがとうございました。他に何か皆さんの方で、ここはとかありませんか。

→ 四角公園なんですけど、立ち入り禁止の張ってある所、もうごみ置き場になってますねん。すごいですよねえ。路上出たやつは回収されましたけど、今度は小屋の中にも放り込まれる感じですねえ。便所の横。

○ 四角公園だけでなく被災ごみというやつ、おっしゃっておられるとおり、トタンが飛んだりして、すごい溢れている。さっきの木の話と同じで道路にいつまでも置いとけないので、三角公園だけではなくて、あちこちの公園にあります。すごい状況になっていて、まずは道路の通行確保、次は公園の中ということで進めようとしています、もう少し時間がかかる。

- これは、どうするかというのと公園部会の議論はリンクすると思っっているんですけども。
- この話は切り分けてください。これは今の災害時の対応報告です。置かれているごみは片付けますし、財産的なものは処分できないので事務所で預かります。
- 四角公園は一人住んで張りますやんか。
- 便所の反対側。あの人の小屋も潰れたはずやんなあ。夏場暑いからかあんまり小屋の中には入ってない。
- 四角公園で何人かおられるけど、人がおるところではそんなに被害はきつなかったんですか。
- 四角は1軒だけなんです。三角は何名かおられますけど。
- それ以外で飛ばされた所は処理どうするんですか。
- ごみになっているやつは処分しますが、中になべとかあってそんなやつは事務所で預かります。枠組みはほんまやったら預からなあかんのですけど。
- それで、住んではらへんに使ってはるひとやんか。その人がまた造りにきた場合はどうするの。
- 言ってるのは、うんていの横にまだ形は残ってるけど、屋根も部分的に飛び、入口も板が飛び、中が見えているような小屋も仮小屋としてそのまま置いとくのかという話や。
- じゃなくて、人が使っていない所の方が結構潰れているけど、そこの処理をどうするの。早くしなければ、また造られて、また後手にまわるのか、それとも預かってもらって、でもここは公園ですからねというのか。その人らはどっか屋根の下に住んではるんですよ。そこは、早く手を打っていくべきかなあと思うんです。
- うんていの横も半分以上、家の災害認定なら8割ぐらいの被害状況ならどうするの。
- 僕らが潰しに行くことはできひんから、そういうことするんなら手続きを踏んで、まずは、所有者の方にあんたとこの小屋飛んでるからどけてよと、飛んだ所やったら荷物預かってるから取りに来てよって、で、返す時に返すけども造るなよとなる。
- 具体的な名前出すと悪いんかしらんけど、うんてい周辺のやつは壊したるといったのに、他の人が壊すなって言ったとか言わんとか。もしそういう事情があったとしたらにっちもさっちもいけへんやん。自分の所も壊れてるんやからあんまりよそのこと言わんといてって。この次の台風で飛んだらどないもなれへんで、何とかしなあかんわなあ。
- 少なくとも半壊というか、壊れている所はちょっと片付けてよ。できひんのやったら、了承してくれたら事務所で潰すがなという話はするつもりです。潰れている所の荷物は、役所が簡単に処分できないので、一旦はお預かりさせていただくというのが基本です。
- 炊き出し用の大きななべとプラスチックのお椀とか。
- なんであそこに置いてあるか不思議ですねえ。
- 昔、別の団体さんがやっていた。その倉庫です。
- どこに聞いたらいいのかわからないんだけど、第2住宅の囲ってある塀がセンター側が崩れてたじゃないですか。
- 住宅。都市整備局。
- ふざけてるのは、あれを直さないで今でも歪んでますよねえ。三徳側の所を囲いにしてたでしょ。何考えてるんだ大阪市はって。
- おっしゃってるのは、囲ってるって言うのは、東側の店やってない所ですねえ。

→ なんて、崩れかけてる所をきちっとする前にそんな所を囲いにして、大阪市は何考えてるんだろう。そういう姿勢を見てると全然なんか、言ってることとやってることがちがうなあという気がするんですけどねえ。

○ 南側のブロック塀、崩れてない所はね、あそこは危険だという話は聞いてて、いつやるかは別として直す話は聞いてます。一方、囲い始めてる所は、住宅の方からかなり苦情がきてたのということはいずれも聞いています。どっちが先か、崩れかけているブロック塀直すのが先かというのは、往來に面している部分を考えてとそちらの方が大事なのかと思いますが、その辺も含めて確認します。

○ 今回の台風はじめ、いろんなことへの対応をどうされるのかということは地域にとっても大問題で、それに対して公園事務所さんも区さんもちゃんと考えていかななくちゃいけないと認識されていると受け止めました。いろんなことへ今後どう対応していくのか、いろんな事情だとか手続きや流れは教えていただきましたけれども、ある程度今後の対応策をまた組み立てていただいたら、共有させてください。これまでみなさんとたくさんの会議をしてきて、何か一つ小さくてもいいので手ごたえを得るべく何か実験的にやってみようというのが、今回のビジョンの提起です。そういった意味で言うと次の新・萩の森の暫定活用にかかる提案というのも、何か具体化してみんなで試しにやってみることが大切なんじゃないかと思います。ちょっとここで、新・萩の森の暫定活用にかかる提案というのを課長の方からお願いします。

・新・萩の森の暫定活用にかかる提案

○ はい。【資料7】になります。ご存知かと思いますが元萩之茶屋小学校の解体工事をしております。解体した後の土地については医療センターですとか第2住宅の建替えの用地になりますが、北西側の部分が空地として残りますので、暫定利用として皆が仲良くいろんなことに使えるような形で広場として整地させていただくので、趣旨として書いてありますが、4年間の暫定利用として萩の森の候補地として認識をされておられて、緑を増やしていく本格的にどういうふうに使っていくかというのがこれからの議論かと思うんですが、それまでの間、時間帯によるシェアなどの皆さんの意見を踏まえた形で来年度から整備をして使っていただくということを検討していきたいと思います。具体的には、センターの閉鎖が来年度当初始まりますので、日中センターを利用されている方の居場所も一つの使い方があるのかなあとと思います。東側に北公園がありますけれども、子どもたちの遊び場、それから地域を訪れる方や地域住民の方の休憩スポット、こういったいろんな使い方をできるように、24時間オープンというわけには行かないのかと思っているんですが、仮移転施設を利用される方の居場所ということで、朝早くから暗くなるまでの間、いろんな形で使えるように、皆さんの意見を踏まえて整理をしていきたいと思います。地域の総意が得られるのであれば、もともと緑の整備を進めて意向という目的もありましたので、原状回復できる範囲で花壇や子どもの遊び道具を置いてみたり、センターの中に売店とか食堂とかありますけれどもそういうものの代替の場所として、施設を設けて運用してみたいという方がおられましたら、そういったことも検討していきたいと考えています。

実施場所につきましては、北西部で600～700㎡となります。周辺の市営住宅の工事の関係で、どこまでオープンで整備ができるのかということは確定していないところがありますので、600～700㎡というような幅を持った書き方をしております。今後の具体的な利用方法

につきまして、今、申しましたような考え方に対してご意見をいただきながら、イメージを固めていきたいと考えています。来年度から整備をしてということになりますと、当然予算の要求もしていかないといけないということで、どこまで整備をするかということまで含めて、今日この場で意見をいただいて、次の公園検討会会議でもう少し具体的なものを出させていただきたいなあと考えています。

- できればこれをモデル事業として市長に提案したくて、新・萩の森をどうするかということについては具体的な提案に持って行ってもらいたいなあと思います。
- 4年間だけの暫定やろ。
- 新・萩の森自体、この計画は暫定ではないですよ。
- 萩の森ということになると、木を植えて公園に近い形での本格的な整備があるのかなあと思っていますが、資料の趣旨にもありますが、あいりん総合センターと今ある第2住宅の跡地の活用と整合性を持った形で議論を進めるのがいいと思います。
- たとえば、この北側のあいりん総合センターの緑地をどうするかということにもリンクしてくるということです。
- 2022年度平成34年度、4カ年の事業として考えています。
- ということは当然、仮移転時の本来のリンクに関連してくる。
- 4カ年、地域の皆さんの協力もいただいてできれば、広場として使いたいということについて、運営とか管理について、地域の方にも積極的に関わっていただいて、4年間でこんなことができたとかいうことを踏まえながら新たに本整備ということについての考え方をまとめていく上で今後のまちづくりに生かしていきたいなあと思っています。
- 平たく言えば4年間、仏現寺公園みたいな柵囲いのグラウンドをこしらえます。それで、コンテナを置いて公募して商売してもらってもいいですよ。鍵は近隣の町会に預けてやっていきたいですということだろう。
- センターの仮移転で小規模になりますが、今まで持っていた規模でなくなるものってありますやんか。売店にしてもないですよ。そういうのってほんまに必要なじゃないんですか。
- 絶対必要だと思いますねえ。食堂とか売店とかねえ。
- それを4年間で本移転になった時また、どない考えていくかっていうのもあるやろし、人が来るイコール買い物であったり食べるっていうのは必要やと思うんです。その場所をどこでとって行くのかなあ。本移転までの間っていうのもどうしたらいいの。
- それを居場所的に使うのも広場なので、検討の余地はある。ただし、萩の森の子どもの遊び場もどう使うかということもセットだから。
- それは本移転と同時に萩の森の方向に行くってことでしょ。
- それまでは4年間そういう使い方をできないかということですよ。贅沢言えば、ドームみたいに、そこまでテントは付けてくれへんやろうけど。
- 子ども達のことを頭に入れないで、萩の森のことを前提に入れないでしゃべります。
仮移転するわけじゃないですか。労働福祉センターとあいりん職安と住宅と病院は本移転で、じゃあ、あいりん総合センターってなんだったのかって、なんで仮移転先がないんだって思うんですよ。この場所でもいいですし、三角公園のねシェルター跡地でもいいですし、旧来そういう機能があったよねっていつといて、新しい所にもそういう機能を盛り込みましようねっていう

話になってると思うんですけど、それなのになぜ仮移転がないのか。それはちゃんと労働部会で言わなきゃいけないと思いますけど。

→ その居場所が、今のところで使えるんじゃないですか。そのタイミングいつどのようにしましょうかっていうことかと思ってるんやけど。半分くらいテント張ったらどうやねんって思ってるんやけど。

○ それもありですよ。ここは都市公園ではないのでそういったことも柔軟にできるということです。

→ 都市公園法などの縛りはないので、地域で総意が得られれば原状回復できる範囲ならOKかなと思います。

→ 子ども達は、おじちゃんがどっか行って欲しいとは思ってないんですよ。一緒にいていいと思ってるので、その中で子どもたちは遊びたいと思ってる。

→ 地面をがちがちに固めるのはよくない。今回の街路樹のこけかたを見てたら、根が丸い、昔むしろ巻いて埋めたまんまの格好でこけてる。根が張ってない、周りの土が硬すぎるからみんなこけるねん。

○ 言っているのは、まさにここで居場所計画ってのを公園部会で議論してきて、ここで仮移転の時になくなった居場所をどこにどう造るかっていうのが重要です。

○ 今回、暫定利用ということでまさに、ご提起があった労働センターの居場所、食堂とかそういう場所も含めて展開できる場所として、委員の皆さんからも意見が出たということですが、一点だけ、さっき子どもの遊び場ということでちょっとした遊び場とちょっとした花壇とおっしゃいましたけども、その時あって言う顔をした気がして。この間、言ってきた萩の森ってものがそもそもどういうものなのかっていうのを知らなくて、写真を拝見したんですが、ものすごく木があっけなかなあれはすぐには造れないなど。それをここで盛り込もうっていうのも少し大変で萩の森とかプレーパークというのは、地域の中で子ども達の声が響くようにそういう場所っていうのはどこにするのかっていうのは別途、ちゃんと議論しないとイケないのかなあとと思いますが、ここでそれがシェアできるかどうか、どう思いますか。

→ 何かの方法でできる。土遊び、泥んこ遊びとか、火を使えるとか。

○ ただ、周辺で工事もやってるし、前は道路あるしどこまでできるのか。その辺、理想とする姿がここで全面展開できるかどうか。

→ できないと思います。木がないもん。

○ 4年後に萩の森を考えるために今から議論しとかなないと。

○ これは、予算もつけてビジョンの一つとして何かやろうという意見もありましたけれどもそれを、この先この場で議論していいんですか。

→ ただ、確認しとかないかんのは、柵が前提、鍵が前提っていうのは皆から異論は出てないという事は確認しとかないと、後でぐじゅぐじゅ言っちゃあダメよ。

→ そんなの聞いてない。

○ 元々は更地にして、入れませんよみたいな柵を張ってというイメージがあったんですが、あまりにも勿体ないという話が出て、オープンにしようとなった時に、一定周りも含めて柵を張って、ごみを放られたりとか。

→ 公園側ではなくて住宅側のためにフェンスを張るって聞きました。

- それは前から計画の中で、道路に面している側もフェンスを張らせていただいて不法占拠とか起きないように、要望の柵は投じなあかんと思っております。
- ちょっとまって、仏現寺公園開く時にずっと動いててんけど、ボール遊びして欲しかったから高いフェンスにしてくれといった、木を切って怒られてるけどな。あの時あったマンション青空って隣は木造やった。若い子が夜、花火したりとか困るよね。近隣が不安になるから、そのために夜閉めてねとなった。ほんまは皆オープンにした方がいいっていう意見の方が多かったんですけど、周りの不安を考えてそうしたんですよ。でも、今回は囲わなあかん程不安なもんはないような気がするねんけど。そこを、野宿のテント小屋がけにされるのが嫌やとか、そんなんのために設置したんとかちゃうんですよ。あそこは子ども達のために守りましようって言うてくれてたんですけど、その結果、近隣が怖いって言う話からああしたんです。ここは近隣が怖いから。
- いま、すごく大事な話になっていて、誰が管理運営するか、責任はどう取るかという話まで繋がってくると思いますが、今、言いたことはまだ決まっていない。地域の声があればフェンスがなくなることもあるだろう。でもそれは、住宅、社会医療センターとの関連も当然出てくるというのがあります。住宅側の話でいうと、住民の方々は当初3メートルの壁を作ってほしいという話からスタートしてる。今回のまちづくりビジョンの皆さんの議論の中では、いずれ壁のないまちにしましょうよというメッセージがあって、そこに行くにはプロセスがいるという議論になった。そこで住宅の人達は、それやったら取りやすい、いずれ取るためのフェンスにして、ごみ捨てられへんとかちゃんと運営できるかということを見ながらフェンスを取っていくという方向になっている。
- その時に子ども達が言うには、フェンスの代わりに木を植えたらいいよって言うんです。
- 住宅の周りには、予めフェンスが建っています。
- 2.5メートルくらいの向こうが見えるフェンスができます。社会医療センターの方もできます。
- 当然、工事中は第1住宅も含めて工事現場の片側は安全対策もあってフェンスなりの柵を設けて区切って、お互い出入りできないようにします。
- 暫定利用している間は柵は残っているかもしれない。
- 柵というか、向こう側の塀が残ってる。それを置いといて、その後も考えて今から木を植えようってしています。
- それは生垣みたいなイメージでしょ。おそらく、おっしゃったのは、北側の実際に道路に面しているフェンスですね。それに対して私が申し上げたのは、不法投棄とか不法占拠の問題もあって、フェンスが要るだろうという説明をいたしました。
- 議論としては、道路側のほうは要らんのではないかということやな。
- ほんまに要るんですかということです。
- その時の管理の問題を、誰が運営管理するか。
- でも今、公園で寝てはるひとは何人ですのって言う話ですやんかあ。
- 問題は露店の連中さんや。今センターの前の方にごみ山積みにしてるやろ。あの人達が、いい置き場ができたって入ってきたらにっちもさっちもいかん。
- 今は朝、晴れてたら求人に来てるわけでしょ。仮移転したらその間は開かないわけでしょ。さ

つき言ったようにそこを居場所にするのであれば開いてないとおかしい。

→ 夜間宿所の利用者が、夜間宿所が閉まってから行く所がないというのが一つ。それは6時から。午前2時頃に行き場所がないっていうのは、誰を対象にしてるの。

→ 仕事に来る人。

→ 仕事に来る人はその辺でバス待ってるやんか。公園の中でたむろしてないんじゃないか。まあ、開いてりゃ入るかも知れんけど。売店のおばちゃん朝2時から商売してくれるかつちゅうねん。

→ 連れて行くのはもっと後なんだよ。

○ フェンスをするかしないか、ただ単に行政するとかしないじゃなくて、管理や何をするのかっていう話ですけど、これはどれくらいのスケジュールで進めていくものなのか説明してください。今後、地域からの意見を集約って書いてくださってるけど、ここだけで全部決めたらいいって思っているわけじゃなくて、いろんな人の話を聞かなくちゃいけない。ただ、どういう人達が意見を出し合って決めていくのかって言うことははっきりしたいので、もし公園部会以外にも話を聞くのならそういうところも含めて、スケジュールを教えてください。そのなかでフェンスの話もできたらいいのかなあとと思います。

○ 来年度年明けには更地になって行きますので、来年度には整備をして利用できるようにしたいという思いがありますので、そうすると来年度の予算として要求をしていかなければならないので、フェンスの話なんかは整備の予算として要求していく話になるので、細かいことはともかくとして、大まかな部分としては、経費がもれることがないようにまとめていきたいと思えます。実際にどのように催していくか、地元としてどこまで関わっていくか、もし地元が関われないのであれば管理については時間帯に分けてシェアする。例えば、朝早い時間帯から午前中は居場所として利用者の方に使っていただきますけれども、昼過ぎて学校がおわったら子どもの遊び場になるということであれば、入れ替えも含めて管理していただく人も置いて、直営では難しいと思うので、業務委託するとか、そういったことも含めて検討しなければいけないのですが、それが仮に地域で管理できるのはどうか。必要な経費を盛り込むことも含めて、運営費等も含めたご意見をいただければ助かります。

→ 商売人にコンテナを3つ貸して、1つ100,000円の家賃を取れば300,000円。毎月300,000円で誰か管理してくれるかっていうなあ。

○ いいと思えます。そういうことです。だれがどうして運営できるかということは、運営の仕組みをセットしていく。ずっと補助金を出していくわけじゃなくて、そこをちゃんと自立できる仕組みがセットじゃないと。

→ 今の、コンテナの話は面白いなあと思ってるんやけど、コンテナ置いたらインフラ付けとかなあかんやん。

○ 水道、ガス、電気ですか。

○ その辺もどんどん言ってください。今日言ってもらった方がいい。トイレも要る。ばんばん言ってください。できることはできる。できないことはできないということも含めて次回。

コンテナ、トイレ、電気、水要る、他は。ガス。

→ 駅前でも話したけど、広場でいいよという話が進んで、その代わり今、整備しなくていいと、移動型の車でイベントする時はそこで、食べ物とか作ることでできるよって。オートキャンプ場み

たいなイメージで造ってねって。今回、コンテナもあるんやったら、お店もあった方がいいやろし、売店もあった方がええんやったら、トイレも整えてやっていくってそれはありなの。

→ 問題は商売人が来てくれるかどうかや。

○ 箕面のさっき言ったやつなんですけど、これが元々コンテナで常設の中、地元がやってるコンビニになっちゃってる。コミュニティーコンビニです。子どもの駄菓子屋もある。

○ ここのレストランは暫定利用で子どものためのカフェ。おばちゃんたちのモーニング喫茶です。地域でコンペやって提案してもらって地域で選んで、その人達が運営してる。

○ インフラがあって中身についてはコンペでシェアしながら日替わり店長みたいに、いろんな人がお店出してる。

○ コンテナなので、かなり投資もしていただかないとあかんのでは。

○ これ一個で500,000円ここは基礎打たなあかんかったから、基礎で200,000円で。移動式ユニットやったら900,000円です。

→ 少なくともセンターみたいなちょっとした店と、ご飯、食事が朝できるそれはいいよねえ。

→ ここはイベント広場で芝生がひいてあるんですけど、朝市やってます。いろんなお店が出て朝ごはん食べたりしています。

○ 我々としては、校舎を解体した後の大きなガラはとっていただきますけど、安心して広場として使うとなるとそれなりに最低限の整備は要るのかなあとと思います。そういうものについてはがんばって予算取りに行きますけど、その後の運営にかかる部分についてはできるだけ知恵出し合って、公費使わずに済むような、回っていくような仕組みを作れば、これからの地域主体のまちづくりをアピールできると思います。

○ 4年間かけて少しずつアイデアを出してもいいわけです。まずは、インフラの整備についてはしなくちゃいけない。そのためのアイデアを出していただきましたけれども、水、電気、ガス、整地というのは大事なものですから最低限していただきたい。

○ このコンテナを150,000円で須磨埠頭から買って来た。地域の子供達の中身を内装して、こういうことを楽しみながらやるための来年度の予算を。

→ それもいいんですが、子どもの、木と水と火を使える所を希望したいです。こういったことが進んでいくと、萩の森は全然違うところで造らないといけませんねえ。ここは、金が付く。子どもの遊び場は金が生まれませんから。投資しているわけで、これから先に生まれてくることをやってるのでね。

○ 本当はここは、萩の森だけで考えるかどうかというのは、重要だったんです。空間としては結構な空間です。

→ 問題は、職安企業やなんかかなだれ込んできたらもうちょっと広い空間が、ここは道路1本通ってるからどうなるか分からんけど、一体として考えられるからもっと違うことになるかも知れんね。

○ 我々、できるだけ幅広い意見を頂戴するんですが、まだ日程はこれからになるんですけども、ある程度まとめていただけましたら、イメージとかできるのかと思いますので、次回に向けて進めていただきたいと思います。

○ 次回に向けてとは。町会の人達に聞いて回るんですか。今日来られてない方々に聞いてもらっていただくというのもありなのかなと思います。それをあわせて次回、提起していただく。子

- もの遊び場については、どういうふうにつなげられるのか、あるいは別の場所なのか、も含めて。
- そういうふうにだんだん変わっていくでしょ。始めは萩の森って言ってね。そうやってずっと子どものことは追いやられていくんですよ。
 - だから萩の森は、4年の内には最低限ここにはできる。悲観的に考えたらあかん。
 - 嘆きは前から伺ってたので、子ども達の生き生きした遊び場所を作るのは大事なことだと思うので、なんらかの形で実現したいと個人的には思っています。
 - 楽観視してコンテナがいいねって言ったのは、4年間は使いますよ。駅前は空地で置いとこうと言うてるって事はコンテナ案がまた出てくると思うその時にはこの場所が開くわけで、駅前でする方がコンテナ案も面白い可能性もあるわけで、そこもインフラ整備やってねって言って、4年の暫定の間そこでもいいんじゃないですかって。
 - 萩の森の暫定はどこかに造ってあげなあかん。
 - 北西部の萩の森候補地の暫定利用として、趣旨はお分かりいただけたのかなと思いますが、もしこういうふうにしたいというアイデアなり直接でもかまわないのでお教えいただいても結構ですし、次回にまとめて出してもう少し具体的にご意見などを踏まえてある程度のたたき台を出してもいいというのであれば、そうさせていただきます。
 - 重要なのは、誰が運営するのかということですね。どういうふうなスペースにするのかも大事ですけど、運営主体を明確にしないと提案だけしといて責任はとれませんではこまるので。そこらへんも含めた議論ができたほうがいいですね、しっかりと。
 - 運営主体に困ったら、まちづくり合同会社がやっているごみの予算をちょっと削って管理運営委託できるかどうかというような話になるかも知れんぐらいの一番手短なあり方よ。ほんまは、そこで商売運営する人がやってもらうのがいいけども。一番とことん行き詰ったらそこを使うしかない。支援機構にやらせてもいいかも知れんけども。
 - 里でもしてもいいと思っていますよ。こんなコンテナのことは難しいけど。子どもの遊び場に関しては、管理できるとしています。
 - 案を出してもらおうかということで皆さんうなずいてはったけれども、それとの関連で、管理運営もね、どこがするのかということが出てきますよねえ。
 - 役所の人は管理しませんか。
 - 役所が直営管理は、今はないやろ。
 - じゃあ、誰がやるんや。労働者か住民かやん。雇ってやるのもええやろうけど。
 - そういうことでもないんです。いろんなやり方があると思うので、次に運営の方法についても考え方を説明させていただくということで、たたき台をお示しさせていただいて、議論していただきたいと思います。整備をして運営をどうするかについてはもう少し時間があると思うので、しっかり議論していただければありがたいと思います。
 - 子ども達をどうするかということなんですが、萩の森のあり方について注目されているし、ご心配されているところですが、今回の調査で一貫校の子ども達も、特に低学年が萩の森どうなるのって書いてましたが、その辺りでぜひ協力できることがあれば一緒と思うんですが。
 - 子ども達のことだけを考えればそういう場所が欲しいとは思いますが、今いろんな話を聞いてたら労働者の方の居場所もいるだろうし、その辺は片側だけ見ても言えないのかぁと思います。

- どう関われるか。関われる可能性はありますか。地域の公園のあり方とかは、子どもとか保護者の方が求めておられますけど。学校発信で仕組みを作るとはそういうことは可能ですか。
- 学校発信で使うというのは、今イメージがわいていないのではありません。
- 何かありましたら、行政なりこの会議の場でご提起いただければと思います。

・美化啓発拠点の設置とその現状報告

- 美化啓発拠点の設置とその現状報告ということで、手短に3分くらいで。【資料8】をご覧ください。三角公園と四角公園に啓発拠点をそれぞれ一箇所ずつ設けまして8月8日から運用開始いたしました。現在は朝6時から午後2時までの間、2名啓発を実施しております。受け取ったゴミについては、ゴミ袋で梱包しシートを被せて見えないように保管して週2回水曜日と土曜日に収集と処分を行っております。まず、台風のことは置いときまして、設置前にごみ捨て場になっていた所も解消できました。完全には分別されていませんけれども、無人の時間帯も啓発拠点の前に分別のカゴを置きましてある程度協力をさせていただけるようになっております。周辺の道路上に投棄場所が変わるのではないかとその辺も危惧しておったんですが、週2回環境局の方で金曜日に集中しておりますけれども、それとぴったり当日に出していただくというわけには行きませんが、一定の数は環境局の収集の方に移っていったのかなあとと思います。引き続きごみ捨てマナーが定着するように啓発を行っていきます。10月に区の広報誌で、美化啓発の取り組みについて広報を行っていきたいと考えておまして、こういった公園の拠点啓発だけではなくて、この地域は人の出入りも激しいので定期的にごみの出し方についてPRするような文書のポスティングも含めきめ細かくやっていくことも含めて取り組んでいきたいというふうに考えています。
- では、本日は以上です。
- 委員の皆様、少し遅くなりましたけれども、会の進行にご協力いただきありがとうございます。本日ご意見いただきまして、今後の議論にさせていただきたいと思っております。本日はお忙しい中、第5回公園検討会議にご出席いただきありがとうございます。